

文化創造学部 文化創造学科 **デジタルアーカイブ専攻** 「資格取得」のための手引き

資格名	付与機関	資格概要	取得方法	試験概要	めざせる職業等
デジタルアーキビスト	日本デジタルアーキビスト資格認定機構	デジタルアーキビストは、文化・産業資源等、情報資源の収集・管理・保護・活用を担当できる人材としてデジタルデータを適切に扱うための能力や技術を有することを証明する資格です。	日本デジタルアーキビスト資格認定機構が定める科目の単位を含む(必修科目12単位、選択科目20単位)を履修し、デジタルアーキビスト資格認定試験に合格することが必要です。	年度末(2月頃)に記述試験を実施	情報通信、金融、印刷、教育、マスコミ、公務員(一般・司書・学芸員・教員)など、様々な業種、職種
図書館司書	国(国家資格)	司書は、図書館法で規定された図書館において、図書資料の収集、整理、保管、レファレンスなどのサービスに従事する、図書館で働く専門的職員の資格です。	図書館法施行規則に定められている必修科目(22単位)と、選択2科目(2単位)以上の合計24単位以上を修得し、本学を卒業することが必要です。	卒業認定時に認定	公務員、図書館司書
学校図書館司書教諭	国(国家資格)	司書教諭は、教諭として採用された人の内、職務として、学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担当できる資格です。	教員免許状に加え、必修科目(10単位)を修得し、本学を卒業することが必要です。	卒業認定時に認定	小・中・高等学校等教員(学校図書館担当)
学校司書	岐阜女子大学(国のモデルカリキュラム準拠)	小・中・高等学校に設置される学校図書館で、学校の教育課程に資する司書としての能力を証明する資格です。	文部科学省が示しているモデルカリキュラムに対応した本学科目(28単位)を修得し、本学を卒業することが必要です。	卒業認定時に認定	小・中・高等学校等図書館
学芸員	国(国家資格)	学芸員は、博物館法で規定された博物館において、資料の収集、保存、展示および調査研究、教育活動等を行う、博物館で働く専門的職員の資格です。	博物館法施行規則に定められている必修科目(19単位)および本学独自の選択科目(8単位)の合計27単位以上を修得し、本学を卒業することが必要です。	卒業認定時に認定	公務員、博物館学芸員
上級情報処理士	全国大学実務教育協会	ビジネスの現場で必要とされる高度な情報実務能力を証明する資格です。	全国大学実務教育協会が定める区分の領域に対応した本学が定める科目の必修科目(8単位)と、選択2科目(16単位)以上の合計24単位以上を修得し、協会に申請することが必要です。	規定単位取得後、年に1度の申請(11月受付、3月認定)を行うことにより認定	システムエンジニア、プログラマ、システムサポート、インストラクター、一般事務、営業事務等
無人航空機操縦者技能証明	国(国家資格)	無人航空機を飛行させるために必要な知識および能力を有することを証明する資格です。	国土交通省の登録講習機関である「岐阜女子大学ドローンカレッジ」で原則月1回開講する講習を受け、実地試験が受けられます。学科試験・身体検査を別途受験し合格しておく必要があります。	「岐阜女子大学ドローンカレッジ」での講習・実地試験・学科試験講習(10時間) ・実地試験における机上試験、口述試験、実技試験と実地試験(10時間) 費用 ドローンカレッジ初学者:2等:97,000円 ※資格取得者に単位認定と大学からの講習補助あり	テレビ局等報道、エンターテインメント機関、土木・建設・インフラ点検会社、公務員等
高等学校教諭一種免許状(情報・英語・国語・書道)	都道府県	公立・私立の高等学校の教員として働くために必要な免許状です。	文科省が定めている高等学校一種免許状取得に必要な単位を修得する。 ・高等学校教育実習(本専攻では2週間) ※教育実習は、中学校実習を行うことで代替できます。介護体験についても同様です。	就職に際し、それぞれの自治体を実施する「教員採用試験」を受験します。 一次試験5～7月 二次試験6～8月 大都市は学校推薦枠を採っていて、学校からの推薦者は一次試験免除となっています。 3年次受験を開始している自治体もあります。	・各県の高等学校教諭 ・教育に関わる企業 ・塾講師
中学校教諭一種免許状(英語・国語)	都道府県	公立・私立の中学校の教員として働くために必要な免許状です。	文科省が定めている中学校一種免許状取得に必要な単位を修得する。 ・中学校教育実習(本専攻では2週間) ・介護等体験実習7日間 ※教育実習は、本学連携協定の山梨市で行うか、出身の地元で行うかどうかを選択します。介護体験の施設場所は県の割り振りに従って、決めます。	就職に際し、それぞれの自治体を実施する「教員採用試験」を受験します。 一次試験5～7月 二次試験6～8月 大都市は学校推薦枠を採っていて、学校からの推薦者は一次試験免除となっています。 3年次受験を開始している自治体もあります。	・各県の中学校教諭 ・教育に関わる企業 ・塾講師
小学校教諭一種免許状	都道府県	公立・私立の小学校の教員として働くために必要な免許状です。	文科省が定めている小学校教諭一種免許状取得に必要な単位を修得します。 ・小学校教育実習(本専攻では2又は4週間) ・介護等体験実習7日間 ※教育実習は、本学連携協定の指定校か、出身地で行うかどうかを選択します。介護体験の施設場所は県の割り振りに従って、決めます。	就職に際し、それぞれの自治体を実施する「教員採用試験」を受験します。 一次試験5～7月 二次試験6～8月 大都市は学校推薦枠を採っていて、学校からの推薦者は一次試験免除となっています。 3年次受験を開始している自治体もあります。	・各県の小学校教諭 ・教育に関わる企業 ・塾講師
旅行業務取扱管理者資格(国内)	国	旅行業務管理者とは、旅行者との取引を構成を行う管理者のことです。旅行会社へ入社するためには欠かせない資格ですが、交通運輸業、航空業、テーマパーク、地方公務員観光課など観光関連産業や公務員としても役立つ資格です。	国内旅行業務取扱管理者を取得するには、国家試験に合格しなければなりません。必須科目(4科目8単位)のほか、対策講座などを受講します。1年生の春休みに国内旅行業務講座、2年生夏休みには試験対策講座を開講します。	9月(CBT試験)	旅行会社、航空会社、空港ハンドリング会社、鉄道会社、旅館・ホテル、テーマパーク、地方公務員等
旅行業務取扱管理者資格(総合)	国	旅行業務管理者の資格は、国内(国内旅行を取り扱う)、総合(国内及び海外旅行を取り扱う)の2種類あります。	総合旅行業務取扱管理者を取得するには、国家試験に合格しなければなりません。必須科目(1科目2単位)のほか、関連科目(2科目4単位)、試験対策講座を受講します。 2年次の春休み、3年次の夏休みに総合試験対策講座を開講します。	10月下旬	

デジタルアーカイブ専攻 「資格取得」のための手引き（取得フロー）

資格名	1年次		2年次		3年次		4年次		備考
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
デジタルアーキビスト	1年から3年次までにおける必須科目授業を履修						試験のチャンスは、3年時と4年時の2回		
図書館司書	1年から3年次までにおける必須科目授業を履修							卒業時に資格取得	
学校図書館司書教諭	1年から3年次までにおける教員免許の科目授業を履修							卒業時に資格取得	
学校司書		1年後期から3年次までにおける必須科目授業を履修						卒業時に資格取得	
学芸員	1年から3年次までにおける必須科目授業を履修						博物館実習	卒業時に資格取得	
上級情報処理士	1年から4年次までにおける必須科目授業を履修								卒業時に資格取得
無人航空機操縦者技能証明	1年から4年次までに計画的に学科試験・実地試験の学修を行い、学科試験・身体検査に合格し、ドローンカレッジを受講して実地試験を受験								費用 ドローンカレッジ初學者：2等：97,000円 ※資格取得者に単位認定と大学からの講習補助あり

※白丸は試験時期を表す

※資格名の黄色網掛は、専攻が主に取得支援する資格、青色網掛は、全学的に取得支援する資格を表す